

令和3年度 家庭で取り組むエコチャレンジ 事前審査 採点結果

令和4年3月1日
第1回環境審議会
資料 2

選考No.	選考理由	備考
77	子どもさんから「やりたい！」の声が上がったこと、「エアコンをつけるほどじゃない」という意識を持ってくれたこと、スバラシイです！	
77	エアコンをやめて扇風機にしたり、水を出しっぱなしにしないで洗面器を利用して節約し、去年も取り組んだが今年は子どもさんが”やりたい”と自分から取り組んだ結果、去年よりもっと電気の使用量が少なかったということ、何事も継続が大切ということを示してくれたと思います。	
77	子どもが行動することにより家族で協力して、省エネ活動ができたように感じられた	
77	エアコンを使用せず、扇風機を使用していること。保護者の言葉から子供が意識して、自ら率先して行動していることがわかる。環境行動は子供の頃から意識化して率先して行くと、無意識に実践されるようになることが多い。削減量と分析結果から継続して取り組んだこともわかり、評価できる。	
77	昨年に引き続き、今回は子供の方から「やりたい」と積極的に取り組んでいるところは立派だと思います。小学5年生の意識の高さを感じました。	
77	子供の方からやりたい！という気持ちが出てきたのが、この取組にとって一番嬉しいことではないでしょうか。排出量を減らすこともできていて、しっかりとした結果も出せていました。	
77	昨年度に続いてのチャレンジです。今回は保護者主体だったのでしょ。今回はお子さん自ら意欲的に取り組み、意識を高くもってチャレンジした様子が伝わってきます。実績としても昨年度をはるかに上回っているという点が評価できます。	
77	自分から進んでやりたいとの自発的な取り組みもあり、様々な努力や工夫を重ねたと思います。その積み重ねが実を結び、大きな節電効果として成果につながったことが素晴らしいと思います。	

選考No.	選 考 理 由	備 考
75	単に「我慢」による節電ではなく、家族で意識を共有し、工夫して節電に取り組んでいることが感じられました。早寝早起きの生活リズムにもつながり、この期間だけでなく家族で継続して取り組む意識も感じられました。	
75	このエコチャレンジにより家族が協力している様子が伺え、今後も期待できると思った	
75	家族で楽しく取り組んでいるところが評価できると思いました。また、照明と入浴が早寝早起きの生活リズムを作り、エコのみならず健康にもつながるものと思いました。	
75	気づきの中に「ナッジ(行動変容)」を暗示するような記述がありました。家族で互いに声を掛け合いながら楽しく取組めた様子を感じる事が出来ました。また証明と「お風呂」は早寝早起きにつながり生活リズムにつながる気づきとそれを継続させる意識を感じる事ができました。	
75	家族で声をかけ合いながら楽しく10日間取り組むことでエアコン使用量が抑えられただけでなく、子供たちの早寝早起きの生活リズムを作ることに役立つなど、一般家庭でも参考になると感じられました。	
75	「照明」と「お風呂」に重点を置き、ポイントを絞って取り組むことで、より高い効果を得ることができたように思います。それとともに、早寝早起きのリズムを作ることにつながったことは、今後の生活にもプラスに作用すると思います。	
7	便座のヒーターを切ったり、扇風機で髪を乾かしたり、風呂の設定温度を下げたり、エアコンのタイマーを活用したりと、子供たちの工夫が光っている。食品ロス削減の努力も評価できる。	
7	気づきの中に「ナッジ(行動変容)」を暗示するような記述がありました。食事のアレンジは保護者の協力があって行動につながるため、家族で協力したこと、継続性を感じられる事が出来ました。	
7	扇風機で髪を乾かす、冷たいタオルを枕に使うなど身近な工夫がみられます。子供たちのエコを意識した生活が大人の食品ロスの取組にもつながる良い事例であることが感じられました。	

選考No.	選 考 理 由	備 考
18	帰宅後すぐに入浴することで、省エネと感染対策を両立させる取り組みは注目に値する。	
18	お風呂を間隔をあけずに続けて入るなど、家族全員で協力して取り組んでいる様子がとても感じられました。また子供達が主体的に声をかけるようになったという点も、取り組んだ成果だと思います。	
18	間隔を空けず、帰宅後早目の入浴はエコだけでなくコロナ対策にもなり、また子供が主体的に加須訓示声をかけていたのも評価に値すると思いました。	
64	天気の良い日はベランダでテント、食事。アウトドアライフを取り込んだ活動はよいアイデアです。	
64	2年継続参加している点。そして環境行動を楽しんでいる点が評価できる。継続するためには、楽しさが重要な要素であり、自宅でアウトドア活動することで、環境行動をレジャー活動にしている。3名と大勢で実践していることも評価できる。	
64	きょうだい三人で目標を立てて協力して取り組んでいる。コロナ禍はアウトドアブームが起きているが「ベランダでおうちキャンプ」のような工夫を取り入れて、楽しみながらチャレンジしていることに好感がもてました。	
11	前回言われていたことを、今年度は改善して、しっかりと節水することができたこと。親から言われることで、環境行動を嫌がることが多いが、しっかりと実践したことは評価できる。また継続して実践する意思を示していることもすばらしい。	
11	気づきの中に「ナッジ(行動変容)」を暗示するような記述がありました。保護者側の意見からも意識を変えて頂く事が出来たと受け止めることができました。	
55	「子供たちが進んで節電について考えて取り組む」「考えて」「普段からの心掛けが大事」ということに気づけたことがとても大事な点です。「考えること」を「みんなで声かけをして心がけた」一見、何気ない事のようにですが、これが実行できれば大きな違いを生むという実例です。良い結果を生み出しました。	
55	電気、水の節約のほかにゴミの分別等、いろいろと取り組み、風呂のフタの開けっ放し等細かいことに気を付けて6,870gもCO2をへらせたと目で見える数字で認識して、普段から心がけることが大事と気づいたことが良かったと思います。	
78	アサガオを日除けに利用する取組が良いと感じられました。アサガオを育てることで、優しい心も育まれるし、花は心を和ませると思います。そしてそれが環境にもつながるということがとてもよい工夫と感じられました。	
78	地球のためにしっかりとエコできるように頑張るといって、もともと取り組んでいることも多かった様子だが、朝がおの種をたくさんまいてグリーンカーテンに取り組んだこと、そしてエアコンを使わず外で遊んだり、同じ部屋で過ごしたりと努力したこと。家の中の節約だけでなくグリーンカーテンに取り組んだことが良かったと思います。	

選考No.	選考理由	備考
1	行動に取り組んだことで、子供達がいろいろな気づきを学べたことが素晴らしいことだと思いました。今後もエコになるんだという意識を続けてほしいと思います。	
23	遮光ネットやエアコンスイッチ1時間前など具体的な工夫があり、生活の中で省エネ行動やエコ活動がしっかりと意識されていることが感じられました。	
28	3人でのチャレンジでしたが、年長のお姉ちゃん2人は自分のやりたいゲームの時間を削って節約するという、その点でもチャレンジだったと思います。下のお子さんは、お姉ちゃんの指導を受けて頑張るといほほえましい光景が目に見えました。家族みんなで頑張る姿を評価しました。	
31	子どもが資源の大切さを理解し、引き続き家庭で省エネ行動を実施していると感じられた	
38	苦手なご飯も全部食べ、努力の跡がうかがえました。小さなことでもエコにつながる気づきを得たことが大きな成果だと思います。クーラーの温度設定による肌感覚の違いも新たな発見につながったと思います。	
44	目標に「SDGsに取り組む」と「親を喜ばせる」が一緒に掲げられている点が大変素晴らしいです。自分たちが生きる基盤である地球への負荷を減らす事と、最も身近で愛する親を喜ばすことはイコールであるという意識か。親御さんの「人間としての在り方」がお子さん達のこの意識を作り出したのでしょうか。「ポイントがわかっていて意識して行動できると気付いた」という言葉にそれが現れています。	
46	最年少4歳のチャレンジャー。「目標を持つと子どもでもがんばって取り組むことができた」「数字で見えることで達成感があり、がんばりにつながった」という親御さんの言葉に表れているように「目標」「数字」「達成感」が重要なポイントです。そのことに気付いたことが素晴らしいです。それが「前月より減っている。エコチャレンジが効果的だった」という結果を生み出しています。	
49	具体的な目標値を設定し、意識と実績が実感できたことは素晴らしいことと思いました。またすでに習慣化している項目もあり、継続して行っている取組も評価できると感じられました。	
56	リーダー小3、サブリーダー小1でしょうか？声を掛け合ってヨロシイですね！大人が消灯時刻を反省するなど、家族そろってガンバリました。	
72	食器洗い時の節水に加え、エアコンの温度設定を子供が主導して変えることで、保護者の意識も変化した点が評価できる。	